学習院大学新聞

発行所
学習院大学新聞社
〒171-8588東京都豊島区目白1丁目5番1号 黎明会館316号室
電話 03（3986）0221内線2607
http://gakushuin-press.org/
発行・編集人　中村紀一
年間500円

学長付国際研究交流オフィス

世界に広がる探究の場

本学の研究と教育の振興を図る、学長付国際研究交流オフィス。「学習院グリーン元気プロジェクト」や「フランス・アルザス欧州日本学研究所プログラム」など、海外での事業を促進する部署である。先月、設置から1年の節目を迎え、本学の国際化に一層力を注いでいる。そこで、彼らの活動の全容に迫った。

今回、インタビューに応じてくれたのは、学長付国際研究交流オフィスの村松弘一教授だ。かつて本学の東洋文化研究所にいた先生は、昨年より現職に就き、研究に取り組んでいる。

本オフィスは、主に3つの柱を軸として成り立っている。まず、資金調達や文書の英語化を行う「国際連携」だ。そして、研究そのものと学者間のネットワークを支える「国際研究」、学生の教育に生かす「国際教育」に繋がる。先生はこの体制について「我々に求められるのは、本院のグローバル化を推し進める、仲介組織としての働きです。各学部や部署を横断し、海外との関わりを幅広く支援しています」と説明してくれた。つまり、学内から学外、国内から国外へと展開する手助けをするのだ。

現在、運営している海外プログラムの一つに「学習院大学／学習院女子大学グローバル・キャンパス・アジア2013」がある。これは、例年多くの学生が参加する中国・韓国の大学での研修旅行だ。立案に携わる先生は「今後は、ヨーロッパなど他の地域での活動も視野に入れています。こうした海外進出を考えるときに、足がかりになるのが、研究者同士の人脈なのです」と詳しく話した。一時的な交流に留まらないよう支えていけば、いずれ外国での学び舎を拓く架け橋となり得る。

しかし、実際に研究を教育へ結び付けていくには、現状では不十分だという。「3つの柱が連動して機能する構造を、作らなければなりません。将来的には、高等科・女子高等科を巻き込んだ仕組みにすることを考えています」と述べており、すでに先行きを見定めている。

設置から1年が経ち、本オフィスは「グローバル学習院」の推進に不可欠な存在となった。最後に、先生は自分たちの役割について語る。「学びの枠を広げたい研究者や学生を、後押しするのが我々の仕事。短期の連携や研修を契機に、外へ出る自信をつけてもらえれば幸いです」。その水面下での活動は、国境を越えた新たな学びの様相を見せてくれるに違いない。

学習院 研究最前線

学問研究の「いま」

「真摯な交渉は未来を開く」
法学部法学科　草野　芳郎　教授

PROFILE
九州大学法学部卒。元広島高裁判事。06年より現職。日本インドネシア法律家協会理事長。日本仲裁・ADR学会常務理事。

◇　◇　◇

先生は、元裁判官として和解に関する見識をお持ちです。また、インドネシアにて、和解技術の普及に尽力されています。今回は、交渉による解決の極意を伺いました。（取材・構成　木原雄大）

和解は判決に勝る

法曹界の風雲児

先生は任官中、当時の通説とは異なる考えを抱いていた。それが、和解の判決に対する優位、和解技術の普及である。

「当時の民事裁判は、判決を下すのが当然という風潮でした。和解しか出来ない裁判官は、判決文の書けない二流の扱いだったのですが、私は和解して当事者から感謝された経験から、和解こそ解決の手段として最適だと思ったのです。そのためには、当事者の真摯な交渉が必要だと感じ、交渉術の研究をしました」

効果的な清算方法を見出す

当事者双方が心から納得できる和解。様々な面から見ても、判決に勝る点は数多くあるという。

「一番のメリットは、即解決を目指す方法だということです。判決は勝訴敗訴がある以上、一方が不服ならば上訴するための通過点であり、紛争の終了には至りません。それに対して、和解は話し合いで、両者が納得すれば解決になるのです。他にも、判決より柔軟な名案を提示できる強みがあります。例えば、住宅の明け渡しの問題を考えてみてください。前者では出て行けという通告のみですが、後者は明け渡しの期間や立退料まで、両者が協議で設定できます」

裁判官は双方の言い分を聞いて、解決に導いていく。その際、紛争事実、当事者感情、判決の結論が鍵を握る。

「日常には、トラブルが付き物です。当事者間では対処できない案件が、裁判になります。3点目の手段を持つ裁判官は、紛争解決に長けていると言えるでしょう。なぜなら、結果を予想できるので、敗者に妥協点を探させることが出来るからです。ただし、両者が納得する方法が肝要となります。再度、住宅問題を考えてみましょう。土地分割で兄弟が揉めたとすると、一見、公平な解決法は土地の二等分ですが、創造的な発想をすれば、土地を分けずに2階建ての家を建て、共有する案が浮かびます。単純な二分割では、十分とは言えないのです」

親切な対応を心掛ける

現在、民事訴訟の主流は和解である。裁判官として仲介する上で、重要な事柄は思いやりの精神だという。

「最も気を付けるべきは言葉遣いです。裁判では負けるから妥協しろ、と説得してはいけません。負けとはすなわち、主張が間違っていると指摘するようなものです。対立する両者を、大切な友人と思って配慮しつつ、接していかなくてはなりません」

その他にも、条項としてまとめる際は、トラブルが再発しないように努めることが必要だという。ここでも住宅の問題を例に挙げてくれた。

「家を明け渡す時期を決めたとき、残った物件の問題に行き当たります。当事者が細部まで納得しない限り、紛争は終わらないのです。この場合、条項で残置物件の所有権を放棄してしまえば、以後トラブルになることはありません」

我が国の今後に鑑みて

先生は、新しい訴訟の形としてADRに関心を持っている。代替的紛争解決の制度で、広義では和解も含まれる。

「ADRは、裁判で決着をつけるのではなく、当事者の話し合いで決めるアメリカ型の制度です。裁判沙汰を望む人は誰もいないため、簡単に利用できるという点で画期的ですね。私は高齢者が抱える紛争、例えば遺産問題などが、この方法で有効に決着するか研究を進めていきたいと思っています」

教授職に留まらず、昨年弁護士としても活躍し始めた先生。和解技術という新しい価値観を生み出した先導者は、今後も法曹界の最先端を歩むであろう。

異文化を繋ぐ
第1回留学フェア

和やかな雰囲気で行われるチャットタイム

5月22日から27日にかけ、国際交流センターにおいて、2013年度第1回留学フェアが開催された。留学に興味がある人や国際交流をしたい人が、気軽に参加することが出来る場として、1日目には「留学生とチャットタイム」。2日目以降も、「TOEFL／IELTSセミナー」や「留学相談／説明会」が開かれた。4日目には「平成25年度夏季スペイン語学研修説明会」が実施され、8月に予定する語学研修の希望者を募る。これらのプログラムは期間中、平日の昼休みに行われ、参加人数は総勢150名にも及んだ。

このイベントでは、留学や海外での学生生活について、様々な角度からの情報提供がなされた。留学生とのチャットタイムや相談会は、実際に留学をした学生の話が聞ける貴重な体験である。身近に触れることが出来たからか、ここでは参加者同士で活発に意見交換している姿が、終始見られた。また、「TOEFL／IELTSセミナー」ではスタッフによって、留学に必要な各種手続きについて紹介された。多くの学生がメモを取って話を聞いており、来場者と主催者の熱意が感じられる催しとして幕を閉じる。

国際交流センターの宮澤文玄課長は、今回の試みについて次のように語った。「昨年までは、留学クラブという名称で、日数も短く小規模で開催してきました。ですが、秋に留学する学生も多く、欧米から来訪する協定留学生の生の声は、今の時期でしか届けることは出来ません。そのため、海外留学促進活動の一環として、内容を拡大しました」。本イベントでは、単なる説明だけではなく、留学が身近に感じられるよう工夫が凝らされていた。海外に目を向ける学生が増えてきている今日、国際交流センターのこれからに目が離せない。

火消しの第一歩
理学部消火訓練

5月9日、南2号館ピロティ前にて、理学部による初期消火訓練が実施された。初期消火は、出火してから2～3分以内の消火活動を指し、これを迅速に行えるか否かで、その後の状況が大きく変わる。初動の必要性を知ることが、訓練の目的である。授業の一環として実施され、物理学科の2年生、化学科と生命科学科の3年生の合計150名ほどの参加となった。

まず、豊島消防署目白出張所の方々による水消火器の説明が行われた。その後、実物を使用し、小さな的に向けて放水する実習を開始。有事の際に、きちんと噴出できるようにするためのものである。学生たちは初めての体験に戸惑っているようだったが、真面目に励む様子が見られた。その他、薬品を扱う現場などで使われる、二酸化炭素消火器や消火栓について学び、訓練は無事に終える。

今回の取り組みを終え、理学部長の持田邦夫教授は自らの考えと、今後の方針を語った。「化学薬品の性質に対する認識不足や実験操作の誤りなど、些細なきっかけで想定外の事態が起きることは多々あります。危険物や劇物を扱うための管理を徹底すると共に、このような被害を最小限に抑えるための安全講習が必修と言えるでしょう。だからこそ、もっと多くの学生に参加してほしかったですね。初期消火の重要性を広めるために、年一度ですが、こうした演習を継続していきたいと思います」。

ちょっとした不注意が大惨事に繋がることは稀ではない。だからこそ、憂いを無くしていくために訓練を行い、もしもの際に備えるべきだ。

素朴な疑問
教えて、店長さん！

西5号館にあるカフェ・ラ・スリゼは、本学の関係者ならば馴染みがあるだろう。だが、どのような人が勤めているかなど、知られていない事は多い。そこで、店長の秋山志津江さんに取材した。

「今でこそ1日に約1000人の方に来ていただいていますが、元々は、自販機コーナーになる予定だったんです」。秋山さんは開口一番、意外な事実を口にした。実は、当初の計画が変更され、三友コーポレーションという、複数の飲食店を展開する会社に、出店要請があったそうだ。そして現在では、総勢7名でこの店を切り盛りしている。さらに「アルバイト店員は3人いますが、皆が本学の学生ですよ。授業や部活動の合間に、シフトに入ってもらっています」と話す。私たちでも働けるようだ。しかし「現時点では、新規募集の予定はないですね」とのこと。

最後に「コーヒーの配達依頼やオードブルの注文も承っていますので、会合を行う場合は、ぜひご用命くださいませ」と笑顔で語ってくれた。聞けば聞くほど、新事実が発覚するカフェ・ラ・スリゼ。他にもまだ、隠された真実がありそうだ。（！）

考えを形に
学生の提言

今年度も「学生の提言」が行われる。これは、私たち学生が身近な問題について、意見を主張できる貴重な場である。今年のテーマは「社会が大学に求めるものは変ったか」だ。

6月中旬に、東京大学が秋季入学への移行を見送るという最終案をまとめた。その理由として、社会的環境の整備が進まず、卒業と就職の時期にずれがあることを挙げている。こうした秋季入学・卒業問題や、大学における学問の修得と職業選択との関わり。このような問題を含め、あるべき大学生像とは何かを主題とした提言を募集する。詳細は左記を参照してほしい。

【応募資格】本学学生（大学院生・法科大学院生・科目等履修生を含む。連名及び複数名も可）

【原稿字数】12000字以内、1図表は200字換算とする（縦A4判横書きとし、Word等のワープロソフトを使用すること）。表紙に、学籍番号・学部学科・学年・氏名・住所・電話番号を明記し、紙媒体（1部）と電子媒体の両方を提出する。

【期間】9月2日～27日

【提出先】学生センター学生課

【表彰】優秀賞：賞状・副賞10万円、佳作：賞状・副賞3万円

【その他】授賞者全員の論文内容は、大学HP（12月頃）に掲載される。

明窓浄机

「少年よ、大志を抱け」。皆さんはご存知であろう。これは、130年以上も前に、かの有名なクラーク博士が発した言葉だ。時代が変わっても、名言というものは色あせず、大衆の心に響いている。しかし、私は大きな夢など持っていない。正直、目の前の現実を淡々と受け入れていれば、何とかなると思っていた▼だが、3年生に進級して、就職活動を意識し始めた。自己分析に取り組み、将来の方向性を模索している。しかし、自分の強みは何か、これから先何をしたいのか、さっぱり分からないのだ。この不安は実に厄介で、一生懸命忘れようとしても、ふとした瞬間に心の底から襲ってくる。真面目な性格に変われば悩みを解消できるだろうが、そのような幻想を抱いている時点で、現実逃避だ▼ある日、諦めかけていた私に、一筋の光明が差し込む。大学新聞を友人に見せて、褒められたのだ。その際、嬉しい気持ちを抑えて、今までの大学生活を振り返る。すると、目標に向け、仲間と共に部活・アルバイトに打ち込む自分を思い浮かべた▼私でも辛い出来事を乗り越え、今を謳歌していることに気付いた。いかなる仕事に就こうとも、このかけがえのない経験は、己の大きな原動力となるだろう。苦悩が少し解決し、将来への一歩を踏めそうな気がした。（希）

情報特急便

学内企業説明会②
日時：7月9日（火）10時～14時30分
場所：百周年記念会館小講堂
対象：4年生・M2年生就職希望者

法学部政治学科・政治学研究科 特別講義
日時：7月19日（金）13時～14時30分
場所：南1号館304教室
講師：Shogo Suzuki 博士
内容：New Thinking on Japan among China's Grass Roots

プレゼンテーション能力アップ 説明力・自己表現を伸ばそう
日時：8月1日（木）10時～17時
講師：大嶋利佳（企業人事研修講師）
申込：生涯学習センター
費用：受講料6000円
備考：定員18名（最少催行人数6名）

就職ガイダンス ～就職希望予定者は全員参加！～
日時：9月19日（木）18時～（90分）法・政・済・営 対象
9月20日（金）18時～（90分）右記の学科以外 対象
場所：百周年記念会館正堂
対象：3年生・M1年生全員

紙面紹介

2・3 夢の工場体験
夏のお出かけに、他とは一味違ったスポットはいかがだろうか。今号では、誰もが一度は行ってみたい工場見学について紹介する。

4 卓球部女子無念
春季リーグ戦4部の優勝決定戦が行われ、創価大に3－0で勝利した。一方、入替戦は1－3と敗戦し、昇格には及ばなかった。

ノリさんのぼやき

今号で引退です。ロッカーを整理していたら、過去の取材資料がたくさん。それらを少し目にしただけで、当時の出来事が、昨日の事のように思い出されます。何と言うか、あっという間でしたね。（凸）

芳林堂書店 BOOKS HORINDO
http://www.horindo.co.jp
高田馬場店 03-3208-0241
コミックプラザ　所沢駅ビル店　東長崎店　航空公園駅店　新井薬師前駅店　イーサイト上尾店　鷺ノ宮駅店　みずほ台店　汐留店　津田沼店　大井町店　関内店　平井店　センター北店

夏にキャリアアップ！～予定はお早めに～
学習院生涯学習センターの夏期集中講座
HPに今期開設の全ての講座情報掲載中！
ホームページにアクセス！

講座名	開講期間（回数）	曜日・時間帯
大学生実力アップ週間 プレゼンテーション能力アップ	8/1（1回）	木　10:00～17:00
大学生実力アップ週間 コミュニケーション能力アップ	8/2（1回）	金　10:00～17:00
夏期集中TOEIC® Workshop600/700	8/1～14（10回）	月～金　13:00～16:00
夏期集中TOEFL® iBTテストスコアアップ講座	8/1～14（10回）	月～金　13:00～16:00
夏期集中　3級FP技能検定試験対策講座（Webフォロー付！）	8/1～9/3（14回）	月、火、木、金　10:00～12:30

■将来への第一歩をサポートする多彩なラインナップ！
「プレゼンテーション能力アップ講座」「コミュニケーション能力アップ講座」のほか、就職時にスコアが求められる「TOEIC」や留学希望者必須の「TOEFL」対策の英語講座および「3級FP技能検定試験対策講座（Webフォロー付！）」をご用意しています。

■ガイダンス日程
以下の英語に関する講座のガイダンスについては、予約が必要です。生涯学習センター（03-5992-1040）までご連絡ください。
◆夏期集中TOEIC® Workshop600/700
→7/9（火）18：30～　7/10（水）18：30～
（両日とも同じ内容です）
◆夏期集中TOEFL® iBTテストスコアアップ講座
→7/9（火）（18：30～）
※場所は、いずれも生涯学習センター（西11号館）です。

以下の講座に関するガイダンスについては、予約は不要です。
◆夏期集中 3級FP技能検定試験対策講座（Webフォロー付！）
→7/10（水）（19：00～）
7/17（水）（19：00～）
（両日とも同じ内容です）
※場所は、いずれも生涯学習センター（西11号館）です。

現在、受講申込み受付中！
学習院生涯学習センター
〒171-0031　豊島区目白1-3-19（目白キャンパス西11号館）
Tel:03-5992-1040　Fax:03-5992-1124　URL:http://open.gakushuin.ac.jp/

BOOKS売上ランキング
2013年6月1日～20日　芳林堂書店（高田馬場店）

順位	文芸書部門	著者	出版社	順位	文庫部門	著者	出版社
1	海賊とよばれた男　上下	百田尚樹	講談社	1	徒然ノ冬居眠り磐音江戸双紙43	佐伯泰英	双葉文庫
2	クイック・ジャパン vol. 108		太田出版	2	残月みをつくし料理帖	高田郁	ハルキ文庫
3	暦物語	西尾維新	講談社	3	真夏の方程式	東野圭吾	文春文庫
4	グレート・ギャツビー	スコット フィッツジェラルド	中央公論新社	4	震える牛	相場英雄	小学館文庫
5	色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年	村上春樹	文藝春秋	5	決戦	上田秀人	講談社文庫

この新聞には ARが使用されています

AR広告サービスとは、印刷物にスマートフォンをかざすと動画や写真が配信されるサービスです。
まずは、COCOARアプリ（無料）をダウンロード！
上のマーカーの付いている写真をアプリで読み取ってみてください。
＊音が出るので公共の場ではお控えください
＊電波が悪いと再生できません
＊機種によっては対応しておりません

記者の眼

執心すべきは道にあらず

富士山が「信仰の対象と芸術の源泉」として、世界文化遺産に認定されたニュースが記憶に新しい。連日にわたる報道の中でも、特別目立っていたのは、三保松原を含めての登録に至ったことだろう。当初、三保松原の除外は濃厚であり、予想を覆しての承認は困難だと思われていた。しかし、文化庁長官を筆頭とした日本代表団の地道な活動が功を奏し、最終的には見事に認可された。

国民を大いに賑わせた奇跡の逆転劇。だが、その裏で苦言を呈する人も多数である。2年前、富士山は世界自然遺産としてユネスコに申請され、却下を受けた。その原因の中には、登山客のし尿やゴミの処理問題などが挙げられていた。その解決も完全になされぬまま、今回の文化遺産認定である。従来から叫ばれていた問題に加えて、交通渋滞や治安の悪化などが起こることも予測されている。また、入山料を設けるなどの案もあり、近隣の商店が反対しているそうだ。お祭りムードに水を差すつもりはないが、これは本当に喜ぶべき事態だろうか。

ぶれない姿勢で

改めて思い出してほしいのは、世界遺産登録の意義である。それは、認可された遺産に対する保護の促進だ。ここで気を付けるべき点は、登録自体が保護をなすわけではない、ということだ。認定はあくまで通過点であって、重要となるのはその後の対策である。

このような手段の目的化は、大学生活においてもしばしば見られる光景だ。例としては、試験や課題のための勉強が当てはまる。もちろん、それによって本人に実力が付いたならば、批評をする必要は無いだろう。だが、現状はどうだろうか。単位の取得に追われ、学問に対する好奇心を蔑ろにしてしまう学生は多い。学ぶ意義を置き去りにして勉強を進めても、実を結ぶはずがない。

こうした逆転現象の背景には、極端に近視的な考えが潜んでいる。確かに、一つひとつの工程に達成感を求めれば、モチベーションの向上に繋がる。そうして継続を促すことも一手だろう。ただ、直近の成果を追求して、目下の物事ばかりに傾倒してはならない。終着点を明確に理解していなければ、安易な道へ流されてしまうからだ。そうなってしまえば、目標に向けた再度の進行は困難である。

私たちに求められているのは、自分が何をするべきなのかを見失わない、確固たる意志であろう。仏教には「月をさす指を見ず、月を見よ」との教えがある。座禅や読経の目的は、それ自体ではなく、自己の内省にある、という意味だ。手段への執着を断つためには、大義を見つめることが肝要である。

単なる風景の美しさを超えて、日本人の心の象徴だと言われる富士山。しかし、山に登った状態では、その様相は眺められない。本質を捉えるには、距離を置いて全体を俯瞰する必要があるのだ。

（経済学科3年　山口春樹）

人気の秘密を追う

工場見学は多くの人を魅了し、ブームを巻き起こしている。その理由に迫るべく、はとバスの小野恵子さんと澤谷輝（あきら）さんにお話を伺った。

そもそも、工場見学のバスツアーはいつ頃からあったのだろうか。「都内では、昭和30年に遡りますね。戦後、新しいものや技術を見たい、との理由で広まったようです」。その後、公害などの原因となり、社会から否定的な目を向けられてしまった。では、なぜ近年になって、人気を盛り返してきたかを質問すると「テレビや雑誌の特集で取り上げられ、それを見た人が実際に足を運ぶようになりました。そこで企業としても、ファンを増やす機会と考え、努力していますね。新しく工場を建設する際には、通路の確保、直営店や博物館を併設するなど様々な工夫をしています」と教えてくれた。

次に、工場見学の魅力を聞いた。「見学が無料で出来る上にお土産も貰える点でしょう。非売品が手に入るときもあります」。そして、人が集まる業種にも特徴があるそうだ。「一番は、生活に最も身近な食品業界です。しかしながら最近、製鉄所などマニアックな分野も話題となっています。工場は小学生以来という人が多いので、懐かしさに耽れる、と支持されていますよ」。大人でも満喫できるようだ。

しかし、交通に不便な場所にある場合も少なくない。「そこで、旅行会社ではバスツアーを企画しています。団体で行くため、普段は見られない部分や人数制限があったとしても見学が可能になりますよ。郊外の観光を兼ねながら首都圏外へも行けます」。ツアーでは車の運転をしなくて良いことから、酒造場が評判となっている。また近年では、工場の夜景も注目を集めている。「こちらは、写真集が人々の目に留まり、ブームになりました。今では、バスツアーはもちろん、クルーズ観賞も出来ます。別の世界にいるような不思議な気分や、ロマンチックな雰囲気を味わえるので、カップルには人気ですね」と話してくれた。イルミネーション感覚で和ませてくれるようだ。

インタビューを通して、工場見学の歴史や魅力、楽しみ方が分かっただろう。実際に行ってみると知識以外にも得られるものがありそうだ。

（横原美樹）

企画	田島　大輝
構成	横原　美樹
	江口　匠
	山口　春樹
レイアウト・デザイン	井戸　大輝
	菅野友里江
取材	櫻井　卓
	竹中　俊介
	田中　豪
	登澤　春香
	平山　雄己
	本城ちひろ
	吉岡百合子
	渡邉　由依

ユニークな Glico 複合施設

小腹が空いたときにあると嬉しい、ポッキーやプリッツ。これらがどのように作られるのか知っているだろうか。昨年10月にオープンした、埼玉県の北本市「グリコ工場前」停留所にあるグリコピア・イーストにお邪魔させていただいた。

この工場では、見学だけでなく、映像や展示物を通して、様々な知識を学べる。最初に映像で、創業者の江崎利一の物語とチョコレートの作り方を学ぶ。グリコという名前は、牡蠣の煮汁に含まれるグリコーゲンに由来する。苦心の末、江崎はハート型のキャラメルを作った。そしてお馴染みのゴールインマークに、「一粒300メートル」という言葉を添えて売り出したのである。これは、一粒に300メートル走るのに必要なカロリーが含まれているという意味だ。

続いて、グリコタウンでは、会社の世界展開や歴史などを、案内と映像で楽しみながら学ぶことが出来る。ここには、歴代のグリコのおもちゃが展示されており、その数はおよそ1500点にも及ぶ。また、高さ3・5メートルのゴールインマークとの記念撮影も楽しめる。

次に、ポッキーとプリッツの製造現場の見学だ。プリッツの生地には切れ目が入っており、45mのオーブンの中で4分間かけて焼かれる。すると、生地が自然と切れ、片方に特徴的な網目の跡が付く。その後、調味料をミストで吹き付ければ完成する。この工場では一日に、ポッキーが7万箱、プリッツは5万5千箱生産されている。

スタジアムホールでは、三択のクイズチャレンジツアーに挑戦。見学内容を振り返った問題などが出題される。そして、優秀者には賞品がある。参加者の中から20名限定で、ジャイアントポッキーに飾り付けをして持ち帰ることも可能（別途参加料が必要）だ。最後に、工場限定パッケージに入ったプリッツと、ポッキー型の風船をお土産にも貰って見学は終了する。

他にも、キャラメルを彷彿させるハート型の芝生など、細かな装飾が随所にあった。グリコには今でも、私たちを楽しませようとする江崎利一の精神が、脈々と受け継がれているのである。

（渡邉由依）

受付　詳細はHP　人数　2人〜　予約　電話

きつね色に香ばしく焼き上がったプリッツ

食卓の引き立て役 kikkoman

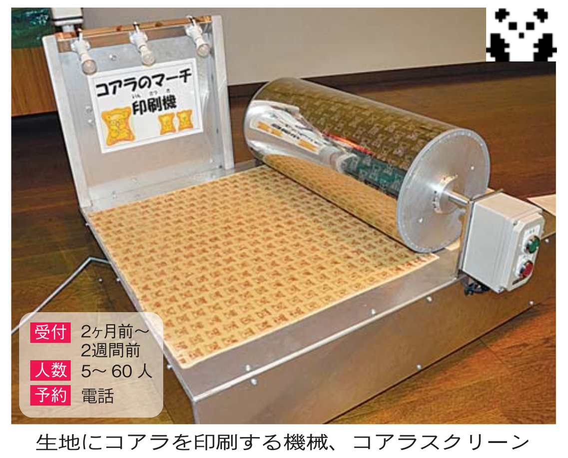
受付　前日まで　人数　2人〜　予約　電話

取材班の中では減塩に人気が集まった

（本文略）

（本城ちひろ）

ガム製造の前線に迫る LOTTE

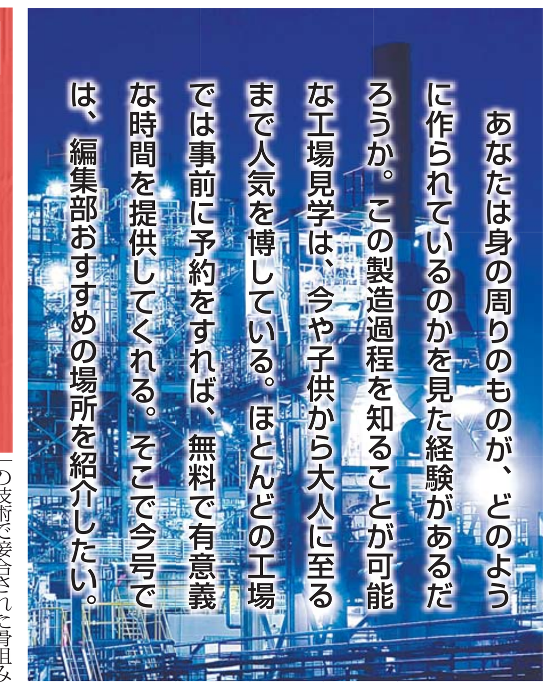


受付　2ヶ月前〜2週間前　人数　5〜60人　予約　電話

生地にコアラを印刷する機械、コアラスクリーン

（本文略）

あなたは身の周りのものが、どのように作られているのかを見た経験があるだろうか。この製造過程を知ることが可能な工場見学は、今や子供から大人に至るまで人気を博している。ほとんどの工場では事前に予約をすれば、無料で有意義な時間を提供してくれる。そこで今号では、編集部おすすめの場所を紹介したい。



SEKISUI 安心設計 見て納得

受付　3日前まで　人数　1人〜　予約　電話、ネット

暮らしのヒントが詰まったモデルハウス

（本文略）

輝く硬貨に光る技 造幣局

受付　2ヶ月前〜10日前　人数　約100人まで　予約　電話

分かりやすい極印の作成工程

（本文略）

大空を飛ぶ ANA 銀翼の秘密

機体の命であるエンジン

（本文略）

資源に学ぶ循環社会 Recycle Plaza JB

私たちが飲み物を飲んだ後の空容器が、その後どうなるのかご存知だろうか。それを知る手掛かりが、さいたま市のニューシャトル吉野原駅に近い工業団地内にある。自動販売機オペレーターのジャパンビバレッジが運営する、飲料空容器の中間処理施設、リサイクル・プラザJBだ。首都圏から排出されるカンやビン、ペットボトルを自社で回収しており、再び資源にする工程を見学できる。

工場内に入ると、最初に環境学習室へ通される。処理工程を見る前に、エコへの理解を深めるのだ。説明を受けたら、ヘルメットとガイド用イヤホンを身に着けて現場の方へ。中は大きな機械が並び、主にカンを取り扱っている。各地から運ばれて来た空容器が、フォークリフトによって、次々とベルトコンベヤーへ運ばれていく。包装していたビニールは自動で除去され、磁力を用いた選別機でアルミとスチールに分別される。そして、金属加熱……

（本文略）

受付　3ヶ月前〜5日前　人数　1〜35人　予約　電話、ネット

ペレットが山のように積もる製品ストックヤード

和文化の入り口

受付　当日参加可能　人数　1〜5人程度　予約　電話・FAX

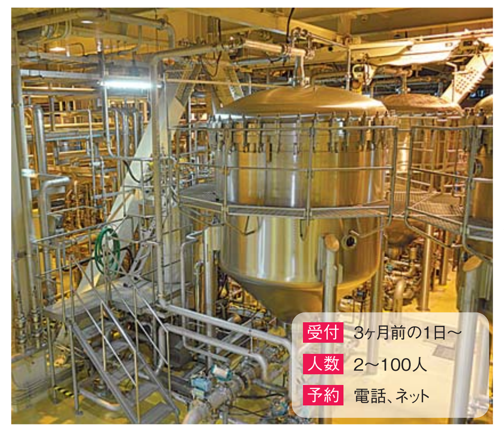
自分なりのこだわりを持って取り組める藍染め

（本文略）

今回の体験は、日本の文化について再認識させられる、大変良い機会であった。それ故に、一度自分の手で「和」を体感してもらいたい。

（平山雄己）

乾杯の原点へ KIRIN



受付　3ヶ月前の1日〜　人数　2〜100人　予約　電話、ネット

ろ過機を通すことで旨みが際立つ

（本文略）

（櫻井卓）

（横原美樹）

肌に彩りと潤いを贈る Yakult Beauties

受付　1週間前まで　人数　1〜35人　予約　電話

きめ細かな泡で毛穴の奥まで磨く

（本文略）

格安購入のすゝめ

（営）10時〜19時　（休）1月1日〜3日

（営）10時〜18時　（休）なし

（本文略）

（登澤春香）

第43回 輔仁会雑誌賞 募集

ほじんかい‐ざっし‐しょう【輔仁会雑誌賞】《名》
学習院在籍者全員を対象とした文学賞で、2万字以内の小説及び文芸評論を募集する。Microsoft Word で作成したデータを CD-R に保存し、タイトルとペンネームをラベルに記載の上郵送する。別紙にタイトル・作者の住所・本名・ペンネーム・学科学年など所属・携帯電話番号とメールアドレスを明記し、添付する必要がある。なお募集期間は 2013/07/20 から 2013/09/10 であり、入賞5万円、準入賞3万円、佳作1万円の賞金が設けられている。

宛先：〒171-8588　豊島区目白 1-5-1　学習院大学内　黎明会館 318 号室
輔仁会雑誌編集委員会　雑誌賞係

※応募に不備がある場合は選考されないことがあります。持ち込み不可。

CAMPUS GUIDE

●軽音楽部
「サウンドステップ」
日時：7月14日（日）
場所：江古田　BUDDY
料金：無料
　ワンドリンク500円
PR：年に一回の中南米研究会との合同ライブです。名門ハウスライブ「江古田　BUDDY」で、いつもとは一味違うライブとなっています。

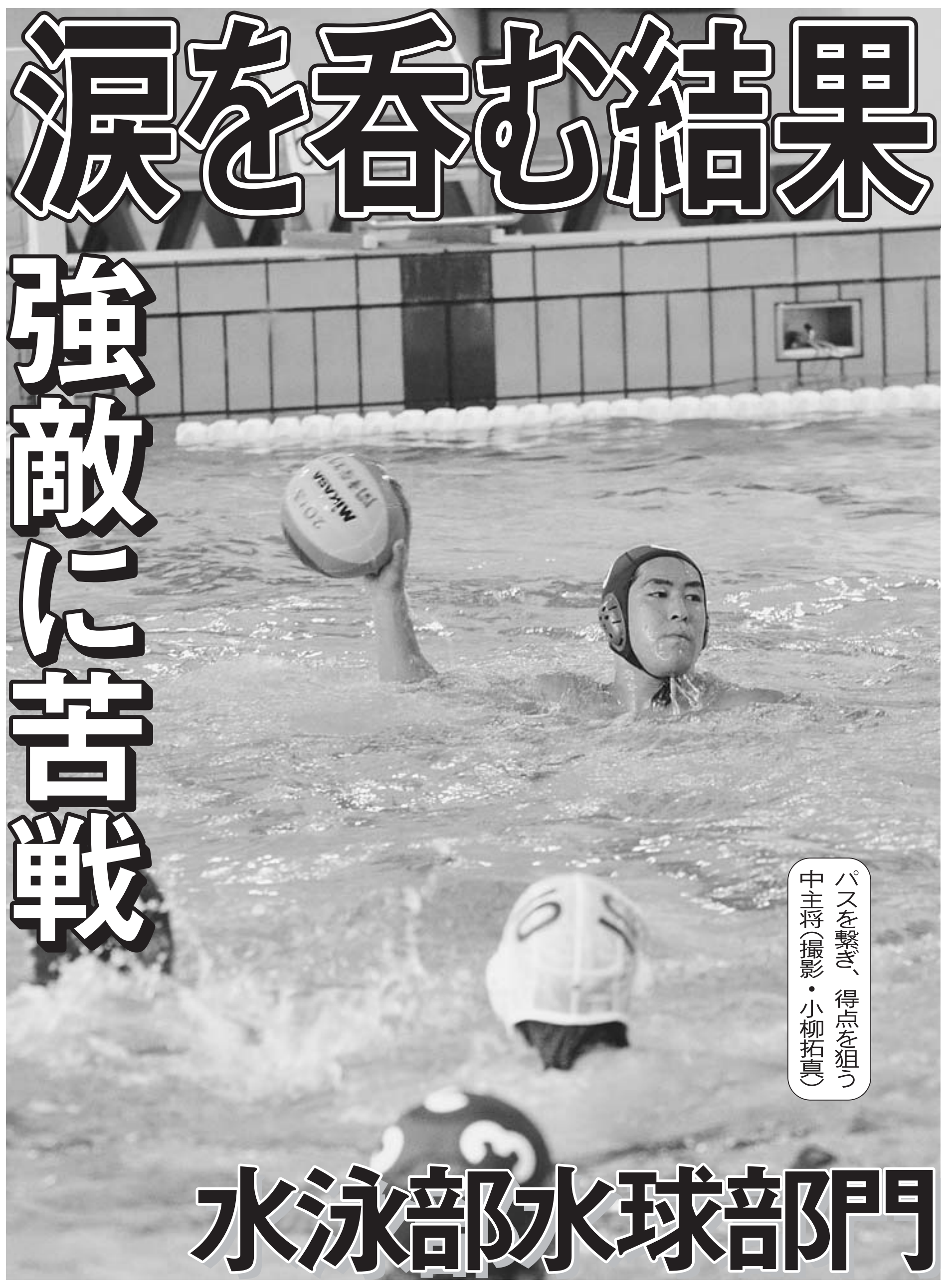
●スカイサウンドジャズオーケストラ部
「山野楽器主催
山野ビッグバンド・ジャズ・コンテスト」
日時：8月17日（土）
場所：大宮ソニックシティーホール
料金：1700円
PR：2年ぶりに全国大会本戦出場です！　部員たちの努力の集大成をお見せします。大宮ソニックシティーへ急げ！

●美術部
「学習院桜美会合同展
〜110周年記念展〜」
日時：11月20日（水）
　〜11月24日（月）
場所：新宿文化センター
料金：無料
PR：学内で作品を募集しています！（油絵、日本画、水彩画、版画、コラージュ、パステル、陶芸など）。詳しくは美術部・富士見会館405号室までご連絡ください。

東京都公安委員会指定
［実地試験免除］
豊島自動車練習所
東池袋3-17-1
（サンシャイン60隣り）
☎3971-8090（代）

国立科学博物館
National Museum of Nature and Science
※特別展を御覧になる場合は別途特別展料金（600円割引）が必要です。
開館時間
通常　9:00〜17:00
（特別展開催中、夏季及びゴールデンウィーク期間中は延長することがあります）
金曜日　9:00〜20:00　※入館は各閉館時刻の30分前まで
休館日
毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）
年末年始（12月28日〜1月1日）
（特別展開催中、夏季及びゴールデンウィーク期間中は変更になることがあります）
☆上野本館の常設展示☆
日本館「日本列島の自然と私たち」
地球館「地球生命史と人類」
360°全方位映像施設
「シアター36〇（さんろくまる）」
大学パートナーシップ入会大学の学生は常設展無料！
〒110-8718　東京都台東区上野公園 7-20
問い合わせ電話番号：03-5777-8600
ＨＰ：http://www.kahaku.go.jp/

学習院大学海外協力研修プログラム
DISSOLVA 2013
ボルネオ プロジェクト
支援物資回収キャンペーン
7月10日(水)の昼休みに東2号館1階ロビーで支援物資回収キャンペーンを実施することになりました。
ぬいぐるみ、オモチャ、学校で使った絵の具セット、文房具、色紙・折り紙、鍵盤ハーモニカ、リコーダー、スポーツ用品などを回収したいと思います。
皆様ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
Borneo Project



涙を呑む結果

強敵に苦戦

水泳部水球部門

パスを繋ぎ、得点を狙う中主将（撮影・小柳和真）

立ち向かう闘志

6月1日、専修大学生田キャンパス総合体育館にて、関東学生水球リーグ戦第2戦が行われた。今回の対戦相手は成蹊大だ。試合の開始前、中賀史（よしふみ）主将（物4）は「強豪校との勝負だからといって怯まず、果敢に挑みたいです。特に、泳ぎは日頃から意識して鍛えているので、その体力を活かし、全力で戦っていきます」と抱負を語る。

始まりの合図と共に相手の猛攻に苦戦し、一気にゴール前まで攻められる。GKの関根泰慶選手（政4）が一度失点を阻止するも、次のシュートで守り切れずに、先制点を献上した。その後も苦しい展開を強いられる中、本学も攻撃を仕掛けようと、パスを繋ぎゴール付近へとボールを運ぶ。だが、首尾よくネットに押し込めず、依然として主導権を握られる。それからも得点を与えていき、追いつくことが出来ない。このまま巻き返しを図れず、0−7で第1ピリオドを終えた。

奮闘するも…

第2ピリオドでは、すぐさま3点を奪われてしまう。しかし、そんな困難な状況に立たされている本学が、ここで輝きを見せた。正確なロングパスと連携の取れたチームワークで、敵陣深くまで切り込んでいく。中嶋馨選手（政2）が怒涛の勢いで相手の守備をかわして、渾身の力を込めたシュートを放ち、ネットを揺らした。そのまま逆転を狙いたいところだったが、成蹊大の素早いパスに翻弄され、なかなか点数を稼ぐことが出来ない。さらに、立て続けに得点を許して点差が大幅に開き、1−15で第2ピリオドが終了。今リーグ戦では、15点以上の差がついた場合、コールドゲームとなる。この時点で14点も引き離されているため、これ以上は点を失えない。しかし、第3ピリオドが開始してすぐにゴールを決められ、1−16のコールド負けとなった。

競技終了後、中主将は「素早い攻撃に対処できなかった場面がありました。また、相手の出方に合わせたパスの仕方を練習する必要があると思いましたね。私たちは、泳力には自信があるので持久力を維持し、攻撃パターンを研究していきたいです」と振り返った。ただ闇雲に戦うだけではなく、このチームは冷静に敗因を分析している。そのスキルを活用し、最後には必ず勝利へと突き進んでもらいたい。（巻口直美）

4部では頂点掴む

Gakushuin Sports

卓球部女子

壁越えられず 悔しさ残る

キレのあるレシーブで相手を翻弄する山田選手（撮影・山口春樹）

Table Tennis 関東学生春季リーグ

6月9日、和光市総合体育館にて、春季関東学生卓球リーグ戦の優勝決定戦と入替戦が行われた。本学は創価大との決定戦に勝利し、4部優勝を果たす。しかし、立正大との入替戦では、苦杯をなめた。

4部優勝決定戦		
山田有里子　選手	3−1	○
小野真未子　主将	3−0	○
小野真未子　主将／馬場　叶恵　選手	3−1	○
本学　3　−　0　創価大		
3部−4部入替戦		
山田有里子　選手	3−0	○
小野真未子　主将	0−3	●
小野真未子　主将／馬場　叶恵　選手	1−3	●
馬場　叶恵　選手	1−3	●
本学　1　−　3　立正大		

成果が現れる

今回は、4部優勝と3部への昇格が懸かった、非常に大事な試合となっている。開始直前に、小野真未子主将（法3）は「時間を有効に使って、弱点の克服に努めてきました。また、新入部員の活躍にも大いに期待していますね」とコメントした。

創価大との優勝決定戦ではまず、山田有里子選手（済3）がコートに上がる。開始後すぐに先制点を許すも、その後は安定したプレーで第1セットを手にする。それからもペースを崩さず、3−1で勝利した。

次の小野主将は、持ち味の鋭いスマッシュを武器に、追い込んでいく。2セット目ではスタートから果敢に攻め、9点差をつけた。相手が焦り始める中、冷静な返しで着実に点を重ねていき、3−0のストレート勝ちで、優勝へ王手をかけた。

ダブルスは、小野主将と馬場叶恵選手（営1）のペアで臨む。1セット目は二人の息が合わず、ネットや空振りが目立った。第2セットでも調子を取り戻せず、劣勢に立たされてしまう。しかしながら、ゲームが進むにつれ、本学の底力が発揮されてくる。相手の制球力が乱れたのをきっかけに、緩急のある攻撃を仕掛けて、逆転に成功する。ここから流れが大きく変わり、3−1で第3ゲームも奪取した。結果的に、ゲームカウント3−0で勝利を飾り、約10年ぶりとなる4部優勝を成し遂げた。

栄冠が遠のく

次に行われた入替戦では、立正大と戦う。1人目の山田選手は、1セットを押さえ、幸先の良いスタートを切る。その後も、正確なレシーブと力強いスマッシュで2セットを制して、3−0と大勝した。

1ゲームを先取し、本学有利の場面で、小野主将の出番を迎える。第1セットでは連続で3点を獲得するも、直後から相手の猛攻に遭う。さらに、2・3セット目では攻撃が決まらず、好機を物にすることが出来ない。そのまま、0−3と大敗を喫した。

続く小野主将・馬場選手のダブルスは、最初の2ゲームを立て続けに取られるも、3セット目を奪って1セット差に詰め寄る。ここから反撃を仕掛けたいところであったが、第4セットを落とし、後がなくなってしまった。

新たな目標へ

昇格のためには、もう負けられない。緊張が走るコートに、馬場選手が登場する。そんなプレッシャーの中でも、積極的に攻め続ける。だが、相手の実力には遠く及ばなかった。ゲームカウント1−3と敗北し、昇格はならなかった。

今回の試合において、惜しくも3部への切符を掴むことが出来なかった、本学卓球部女子。しかし、この経験を活かしきれた時に、彼女たちはさらに上のステップへと踏み出せるであろう。（小古間貴史）

ロッカールーム

本紙・長谷川が辿る本学アスリートの軌跡

竿友会 今出 隼人 さん（史4）

愉しみと悦び

釣りは、スポーツでありながら娯楽でもある。それを活動内容としている運動部が本学には存在する。竿友（かんゆう）会だ。今回は同会の今出（いまいで）隼人さん（史4）にお話を伺った。

「私は楽しむために釣りをします。いつ魚がかかるか心躍らせながら水中をイメージする。それが醍醐味です」。そう語る彼は、幼少期から釣りに親しんできたという。趣味を極めようと思い、大学で竿友会に入部した。

大会では、どのようにして勝敗を決めるのかを尋ねると「魚によってエサや釣り方が決まっているので、魚の種類ごとに競技方法が異なります。3匹の合計重量や全長で競うものもあれば、時間内に釣った数で比べる場合もありますね」と教えてくれた。しかし、自然を相手としているため、困難も多い。急な雨に降られたり、強風で船が揺れ、酔ったりすることもある。また、海で釣る際には、潮の満ち引きについても研究しなければならない。やはり、この競技でも運と経験が、大きなポイントとなっているようだ。上手くいかなかったときは「まずは、釣れない原因を考えますね。その上で、ルアーの動かし方や探るタナを変えるなど、色々と試行錯誤をします」と今出さんは述べた。

竿友会に入部し3年が経つ今出さんに、これまでで最も印象深い体験を聞くと「友人と小笠原諸島へ行った時の出来事です。釣った魚の身をエサにしたところ、サメが釣れました。自分の身長と同じくらいの大きさで、とても驚きましたね」と笑みをこぼしながら振り返った。サメに直接触れる機会は滅多にない。これは、彼にとって貴重な経験となっただろう。

これから秋に向けて、多くの大会が行われる。その中でも楽しみにしているものは、全国大会だという。「全国の大学が一ヶ所に集まります。こういった、他大学と交流する機会は残り少ないので、大切にしたいです」と話していた。

釣りは、生涯趣味として続けることが出来る。「一生幸福でいたかったら釣りを覚えよ」という中国の諺を思い出さずにはいられない。（長谷川恵梨）

惜しい一戦

ボウリング部

力強い投球をする並木主将（撮影・中村紀一）

1部で健闘

6月9日、マルアイボウリングにて、関東学生春季レギュラーリーグ第7週が行われた。今回のリーグ戦は、1試合につき3ゲーム行われ、各チーム5人の合計得点で競われる。今年度から1部に昇格した本学は、強豪である早稲田大と対戦する。試合前に並木栞主将（日3）は「現在、残念ながら、下位に低迷しています。なので、少しでも順位を上げることが出来るように、精一杯頑張りたいです」と意気込みを語った。

レーン上で挨拶した後、ゲームが始まる。早々に1番手の並木主将がストライクを決めると、本学は流れに乗って、問題なく試合を運ぶ。しかし、途中からピンが残ってしまう場面が目立った。悪い流れを断ち切れず、915−940で第1ゲームは惜敗する。

落とせば敗北する第2ゲームの序盤は、緊張の中でも好投を続けたが、徐々に精彩を欠いた投球が増える。その後、第5フレームで4人がストライクを記録し、調子を取り戻す。だが、着実に点を重ねていた相手の得点には届かなかった。結局、第2ゲームも896−937で落とし、負けが決定してしまった。

成長への土台

最終ゲームで、本学は意地を見せる。スペアで確実に点数を獲得していき、第4フレームでは3人連続でスペアを出す。直後には、大嶌啓文選手（済3）と三木明選手（生4）が、続けてストライクを取るなど順調にペースを作った。丁寧な投球が功を奏し、第3ゲームは900−871で勝利する。

試合後に並木主将は、「普段とは違うレーンに対応できず、うまく投げられない時がありました。いつも決まったボウリング場で練習しているので、適応力が身に付いていなかったのだと思います」と残念そうな表情を見せた。だが、明確な課題が見えたことは、今後への大きな一歩と言えるだろう。本学の、1部リーグでの更なる活躍を期待したい。（高橋悠里）

TOPICS

その他の試合結果

【ホッケー部女子】▼関東学生春季リーグ順位決定予選▽対津田塾大　1−0　勝ち▼同1位2位決定戦▽対防衛大　4−0　勝ち

【籠球部女子】▼関東大学女子バスケットボール新人戦▽対筑波大　49−73　負け　2回戦敗退

【ラクロス部男子】▼甲南[illegible]戦▽対甲南大　16−8　勝ち

【サッカー部】▼東京都大学サッカーリーグ戦2部▽対一橋大　2−5　負け▽対武蔵大　0−0　引き分け

デスクの片隅

それは、あまりにも突然だった。私の一番好きな野球選手が、試合中に怪我をした。右肘靭帯の断裂で、全治1年。耳を疑った▼悲しみの中にいた私だが、それから2日後、彼が更新したブログのある部分に目が留まる。「いつかは切れるのだから常にベストを尽くそう、それが今日かもしれないから全力で打者と勝負しよう」▼この一文を見て、ふと思った。毎号より良い紙面になるよう、必死で作業したのか。そう考えたとき、自信を持ってYESと言える自分はいなかった。理由を自問した結果、一つの結論が出る。最大の山場だった四大戦号を終え、意欲が薄れていたことが原因ではないか。正直なところ、モチベーションが上がらず、力を抜いてしまう時もあった。それが紙面に表れていたと思うと悔いが残る▼先程の野球選手は、手術を終えてリハビリを始めている。[illegible]に、何事にも全力投球したい。そして、その選手が復帰する頃には、私も新しい自分に生まれ変わっていたい。（柊）

應援團より 学習院生に告ぐ!!

第43回チャリティーショー

『クローバーの集い』

日時:2013年10月6日(日)

13:30開場　14:00開演

会場:成城学園五十周年記念講堂

主催:四大學應援團（成城大学・学習院大学・成蹊大学・武蔵大学）

募金先:公益財団法人日本ユニセフ協会「ユニセフ募金」

学習院大学ラグビー部

黎明会館108号室

新入部員募集してます!!

もちろんマネージャーも募集してます!

最高の仲間とともに充実した大学生活を送りましょう